



議会だより わどまり



CONTENTS

こんなことが決まりました	2P
Pickup 人事案件	3P
7名の議員が町政を問う	4P
活動報告	11P
絆のボタン・編集後記	12P



左の二次元コードをスマートフォン
などで読み取ると、町議会のホーム
ページにリンクします。

■令和5年 第2回 定例会(6月13日～16日)

議案等 番号	件 名	議員名（議席番号順）												議事結果
		山口 明日香	島田 浩樹	森 富隆	川畑 宏一	池田 正一	喜井 和夫	児玉 実隆	東 弘明	中田 隆洋	山下 幸秀	桂 弘一	永野 利則	
	【表の見方】 報：報告 承：承認 諮：諮問 議：議案 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 ー：表決権なし													
報2	事故繰越し繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報3	事故繰越し繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報4	繰越明許費に係る繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報5	繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報6	繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報7	専決処分の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
陳8	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択	
陳9	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択	
陳10	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	採択	
承2	専決処分の承認を求めることについて（和泊町税条例の一部を改正する条例の制定について）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承3	専決処分の承認を求めることについて（和泊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承4	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町一般会計補正予算 第8号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承5	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町一般会計補正予算 第9号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承6	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町一般会計補正予算 第10号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承7	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算 第5号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承8	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町介護保険特別会計補正予算 第4号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承9	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算 第3号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承10	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町奨学資金特別会計補正予算 第1号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承11	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町下水道事業特別会計補正予算 第4号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承12	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算 第4号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承13	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度和泊町一般会計補正予算 第1号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承14	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度和泊町一般会計補正予算 第2号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
承15	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度和泊町一般会計補正予算 第3号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	承認	
議32	和泊町辺地に係る総合整備計画の変更について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決	
議33	和泊町過疎地域持続的発展計画の変更について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決	
議34	物品購入契約の締結について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決	
議35	和泊町副町長の選任について	無記名投票 賛成9 反対1									欠		—	同意
議36	和泊町農業委員会の委員の任命について（加納 秋一 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議37	和泊町農業委員会の委員の任命について（大福 富一 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議38	和泊町農業委員会の委員の任命について（大里 憲男 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議39	和泊町農業委員会の委員の任命について（野村 栄治 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意

議案等番号	件 名	議員名（議席番号順）												議事結果
		山口 明日香	島田 浩樹	森 富隆	川畑 宏一	池田 正一	喜井 和夫	児玉 実隆	東 弘明	中田 隆洋	山下 幸秀	桂 弘一	永野 利則	
議40	和泊町農業委員会の委員の任命について（三島 武己 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議41	和泊町農業委員会の委員の任命について（山田 兼正 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議42	和泊町農業委員会の委員の任命について（川畑 善美 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議43	和泊町農業委員会の委員の任命について（村山 俊夫 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議44	和泊町農業委員会の委員の任命について（今井 博美 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議45	和泊町農業委員会の委員の任命について（山田 定美 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議46	和泊町農業委員会の委員の任命について（皆吉 泰智 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議47	和泊町農業委員会の委員の任命について（榮 末雄 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議48	和泊町農業委員会の委員の任命について（松田 実 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議49	和泊町農業委員会の委員の任命について（東 真由美 氏）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	同意
議50	令和5年度和泊町一般会計補正予算（第4号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	原案可決
議51	令和5年度和泊町下水道事業会計補正予算（第1号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	原案可決
発2	義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決
発3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決
発4	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決
	議員派遣について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	◎	—	可決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。
※山下幸秀議員は欠席。

pickup 人事案件

副町長

かわばた ゆういち

川畑 裕一 氏 (66 歳)

昭和57年和泊町役場に採用され、経済課・耕地課などを
を経て平成22年に企画課長就任。平成30年3月退職。

令和5年7月1日より副町長に就任。



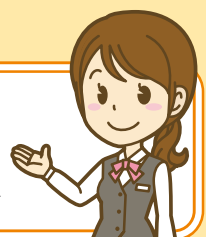
議会を傍聴してみませんか

議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

定例会は、年4回（通常3・6・9・12月）、また必要に応じて臨時会を開催することもあります。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができます。お気軽に議事堂にお越しください。
お問い合わせは、議事事務局（92-2569）まで

お問い合わせは、議会事務局（92-2569）まで



次回定例会・・・9月12日(火)～22日(金)予定

ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和5年第2回
議会定例会

なかだ たかひろ

・中田 隆洋 議員

未来の共創に向けてP4

いけだ しょういち

・池田 正一 議員

こども達よ!
スポーツに励め!!P5

ひがし ひろあき

・東 弘明 議員

町民の小さな声を大切にP6

やまぐち あすか

・山口 明日香 議員

日頃からの
防災意識を!!P7

やました ゆきひで

・山下 幸秀 議員

総合交流施設の
推進を!!P8

かわばた こういち

・川畑 宏一 議員

全庁的かつ計画的な
財政運営を!!P9

しまだ ひろき

・島田 浩樹 議員

町民福祉向上になる
政策をP10

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すること。



未来の共創に向けて



なかだ たかひろ
中田 隆洋 議員

※1
自治体DX(デジタルトランス
フォーメーション)

問 目標と進捗状況は。

答

目標は、デジタル技術やデータを活用し、町民の利便性を向上させるとともに、業務効率化や行政サービスの向上を図ること。具体的には「自治体の情報システ

※2
デジタル田園都市国家構想

問 目標やビジョン、交付金事業の取り組みは。

答

目標は「第2期わどまり未来予想図プロジェクト」にて掲げた4つの基本目標を実現するために、デジタルの力を駆使して全ての町民が便利で快適に暮らせる和泊町を目指す。

ムの標準化・共通化」や「自治体の行政手続きのオンライン化」を推進する。他自治体の導入事例を参考に本町に最適なシステムを検討している。

防災拠点施設「やすらぎ館」の
指定管理

問 現状と今後の計画、改善点は。

答

和泊字と協定を締結しており、令和7年3月末で協定期間が終了する。次期更新に向け、今年度中に和泊字と協議を行う。改善点として、宿泊・予約及び使用料等について検討する。

交付金の活用は、既に確立されている優良なモデル・サービスから情報収集を行い、本町に適した実効性のあ事業への活用を検討している。

【※2 第2期わどまり未来予想図プロジェクト】

(4つの基本目標)

1. 地域資源をフル活用し、安定したしごとをつくる。
2. 国内外から交流人口の増加を目指す。
3. 安心・夢・ゆとりのある子育て環境づくりを目指す。
4. 町民みんなが健康で、安心安全、自立した地域づくりを目指す。

【※1自治体DXとは?】

住民に身近な行政をおこなう自治体がデジタル技術を活用し、住民の利便性や行政サービスを向上させていくこと。

こども達よ！スポーツに励め！！



いけだ しょういち
池田 正一 議員

スポーツ振興

問 中学校部活動において、外部コーチの導入は。また、部活動の地域移行への取り組みは。

答 現在、和泊・城ヶ丘中学校において、15の部活動が活動しており、8名の外部コーチが指導を行っている。

地域移行については、各中学校の部活動顧問及び外部コーチとの協議を終え、部活動推進協議会設置要綱を整備し、部活動地域移行推進協議会の立ち上げの準備を進めている段階。

【現状と今後の方向性】

- ①活動自体は、30年以上前から外部コーチ制度が導入されている。
- ②地域移行において、コーチの謝金・保護者の送迎・外部指導員の資格について協議が必要。
- ③指導員の派遣母体を「元気！わどまりクラブ」と考えているが、スポ少のような活動になる。



▲サッカー部大会

※奄美群島振興開発特別措置法

問 令和5年度末で期限切れとなるが、令和6年度以降の奄振法の延長・拡充に向けて、農業政策においての要望・拡充の内容は。

答 本町からの農業政策についての要望事項は次のとおり。

①農作物の出荷支援は、沖縄止まり農産物について、輸送コストの対象支援とすること。

②原材料移入の補助対象品目については、町村で3品目以内と事業実施要領に定められているが、対象品目数の制限を撤廃。

③燃油価格高騰や輸送コストの増加が予想される中で、状況に応じた基準単価の見直しと十分な所要額の確保。

④園芸作物施設については、資材価格高騰による事業費増加に伴い、補助率のかさ

上げ。

⑤さとうきびについては、肥料・農薬等の物価上昇分を交付金単価へ上乗せ。

⑥畜産については、配合飼料等の移入や子牛の輸送費用に係る輸送コスト支援、また死亡獣畜処理施設の新設。

今年度末に国会への改正法案が提出される予定となっているので、引き続き要望するとともに、今後も関係団体等と協力しながら農家支援を行っていく。

【※奄美群島振興開発特別措置法】

奄美群島振興開発基本方針に基づき総合的な奄美群島振興開発計画を策定し、その基礎条件の改善並びに地理的及び自然的特性に即した奄美群島の振興開発を図り、もって奄美群島の自立的発展、その住民の生活の安定及び福祉向上並びに奄美群島における定住の促進を図る目的。

「奄美群島振興開発特別措置法(目的)一部抜粋」

町民の小さな声を大切に



ひがし ひろあき
東 弘明 議員

子育て支援

問 学校給食費の無償化は。

答 現在、令和元年度10月からは牛乳・米飯・パン代については無償化を実施。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町内小中学校2学期・3学期の給食費に充て、無償化を図った。

無償化を実施した場合、各小中学校の保護者負担分約20,126千円、町補助分約8,636千円、計約28,762千円の財源が必要。

今後、有用な事業があれば活用したいと考えている。

給食費免除処置事業

1,309万円



令和4年度2・3月期の
小・中学校の給食費を免除

農業振興

問 令和4年第3回定例会後、肥料・飼料価格高騰への対策・検討は。

答 町単独事業として「肥料価格高騰対策事業」及び「配合飼料価格高騰対策事業」実施による各作物生産者及び畜産農家へ交付金を交付する旨、答弁した。

飼料価格高騰対策事業

978 万円



畜産農家に対し、前年度との
差額分の補助金を交付

その後、国庫事業「肥料価格高騰対策事業」や町単独事業「和泊町飼料価格高騰対策事業」を実施している。肥料価格の推移や国の事業等を注視しながら、生産者の経営意欲の向上に繋がる対策を実施していきたい。

予防接種

問 帯状疱疹ワクチンの予防接種の支援は。

答 帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢やストレスなど、免疫力低下により、体内に潜伏する帯状

疱疹ウイルスが再活性化し、発症するもの。

発症予防のためには、ワクチンが有効とされ、帯状疱疹ワクチンによる疾病負担は一定程度明らかとなったものの、引き続き、期待される効果や導入年齢等に関して検討が必要。

和泊町における公的な接種の推進については、国の動向を注視しつつ、支援の実施について関係機関等と検討していく。

【※帯状疱疹】

水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気。多くの人が子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏していて、過労やストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して、帯状疱疹を発症する。

日頃からの防災意識を!!

消防団の在り方

やまぐち あすか
山口 明日香 議員

問

現状と課題は。

答

和泊町消防団は令和5年4月現在で99名在籍。

全国消防団員数は年々減少が続き、本町も減少傾向。今後は消防団の充実強化に向け、消防団幹部会で協議し、加入促進や団員の資格取得等に向け、スピード感を持って取り組んでいくことが課題。

消防団員募集中!

対象者

本町に居住する
年齢満18歳以上
45歳未満

居住している地域の消防団員、もしくは役場総務課消防係までお気軽にお問い合わせ下さい。

子育て支援

親子連れが集える公園の整備として、どのような

検討・整備がなされたか。

答

令和3年度に笠石海浜公園・いしご公園・ヤー

シチ公園を対象に都市公園長寿命化計画の策定調査を実施。調査の結果、危険度及び緊急性により笠石海浜公園の石積擁壁の改修工事を令和4年度から令和5年度にかけて行っている。今年度は、いしご公園・ヤーシチ公園の遊具更新に伴う設計委託及び工事を進める。



教育環境整備

問

GIGAスクール構想に向けての現状と課題は。

答

現状 ↓ 1人1台

端末・高速ネットワーク環境整備・各教室に大型モニター設置・フィルタリングソフト導入・ICT支援員配置(R4年度から)・小学校高学年から中学生を中心に家庭学習(オンライン授業)で学習ドリルアプリの活



▲笠石海浜公園

用・様々な理由で登校できなかった児童生徒に対し遠隔での授業参観や担任との連絡手段としても活用。

課題

↓数年後、端末やネットワーク環境の更新に多額な費用がかかることが予想される。インターネット環境がない家庭もあるため、持ち帰り学習の際に機能の活用が限られている。



▲家庭学習(オンライン授業)

総合交流施設の推進を!!



やました ゆきひで
山下 幸秀 議員

総合交流施設

問 優先順位の高い総合交流施設だと考えるが、現在の状況は。

答 令和4年12月に「総合交流施設を更に推進する会」を発足し、これまで4回協議を行っている。

これまでの経緯・基本構想・基本計画を基に建設候補地を城ヶ丘中学校校舎の東側を第一候補地とした。

施設規模は、メインアリーナにサブアリーナを含めた案に絞り、平面配置図の検証及びイメージ図の作成に取り掛かっている。

無電柱化事業

問 本町の計画は。

答 無電柱化事業は道路改良事業と同時進行となっている。令和3・4年度は用地取得を実施し、今年度に道路改良及び無電柱化工事の発注を予定している。

道路改良と同時進行であることから、用地取得等の影響も考えられるが、令和7年度完了に向けて進めていく。



▲無電柱化工事

地域マイクログリッド事業

問 本町のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みは。

答 本町の温室効果ガス排出は、農林水産業・業務・家庭・自動車の4部門における排出割合が高く、化石燃料由来が約70%、電気由来が約30%というデータが出ている。

ごみ削減やリサイクル・住民向けのエネルギー節約や再生可能エネルギーの利用に関する啓発活動や情報提供を行うなど、住民の参加を促す取り組みを行うことがカーボンニュートラルの実現に向けた有効な手段である。

問 ゴミ焼却炉の熱利用発電の計画は。

答 ゴミ焼却炉の熱利用発電は、廃棄物処理と同時にエネルギー回収が行われるため、二次的な利益がもたら

される。

一方で、発電出力が安定せず、平均的な発電効率は10%〜20%と発電効率が悪いため、経済性を考慮しながら決定する必要がある。

以上のことから、現時点において導入の計画はない。

高齢者福祉

問 研修センター周辺に高齢者保養施設を整備する考えは。

答 グラウンドゴルフ場やキャンプ施設など、子どもから高齢者まで幅広い年齢の町民が利用している為、現在のところこの周辺に高齢者保養施設を整備する計画はない。

今後は、高齢者保養施設・憩いの場については現在ある施設の有効活用を図りつつ、検討していく。

全庁的かつ計画的な財政運営を!!

かわはち こういち
川畑 宏一 議員

行財政運営

問 町民福祉の向上を図っていくため「安定した財政運営」へ向けた取り組みは。

答 新規起債発行の抑制や経常経費等の削減に努めている。今後、各種ハード事業に対する目的基金の積み増しや既存施設の老朽化に伴う維持管理経費等の増額が見込まれ、令和4年度当初予算編成からは義務的経費の推計や普通建設事業費の積上げを行いながらシーリング枠を設定し、年間所要額内での執行を原則としている。引き続き

き財政健全化の取り組みを加速化していく。

教育環境整備

問 各学校施設の大規模改修計画は。

答 内城小学校で今年度改修工事を行う予定で、国が3分の1補助する学校施設環境改善交付金を活用予定。今後は、補助率の高い事業の導入や、学校教育施設等整備事業債・辺地債・過疎債等の活用を視野に入れ、緊急性の高いものは基金の活用を検討する。



水道事業運営

問 「水」を安定的に供給していく上での課題は。

答 人口減少により料金収入が低下する中での原油価格高騰や電気料金・資材料等の値上げにより、非常に厳しい運営が続いている。また、供用開始から約60年が経過し、今後も多くの施設改修・更新や管路布設替え工事等が計画されている。安定的な運営のため、補助事業等を模索し経費削減や未収金の徴収強化にも努めながら、料金改定も視野に入れた検討が必要。

沖永良部バス利用促進

問 ※グリーンスローモビリティの活用は。

答 CO2排出量が少なく、観光などのゆったりとした移動に最適で、狭い道路でも走行可能。自宅とバス停の間が離れておりバス利用

に不便を感じている利用者等に有効だと考えられ、路線再編の中で一つの選択肢として検討する。

問 より効果的な路線検討のため、ICTを活用した動向調査の導入は。

答 スマホのWi-Fi電波からリアルタイムの人口分布を地図上に落とし込み、より利用者が多い経路を把握するシステム等を活用して路線再編を検討したい。

※グリーンスローモビリティとは？

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。



町民福祉向上になる政策を



しまだ ひろき
島田 浩樹 議員

脱炭素先行地域事業計画

問 計画が見直しになった
が、今後の計画は。

答 再生可能エネルギーの
導入及びマイクログリッ

ド事業について、九州電力送
配電及び関係事業者と協議・
検討の結果、技術面及び制度
面に課題が判明。見直しにつ
いては、再エネ導入対象とな
る公共施設数の減少・離島ユ
ニバーサルサービス調整単価
の適用を受ける離島は電力の
小売事業が実施不可能な為、
見直しが必要。
今後、令和5年度に住民説
明会と設備導入に向けた調査

等を実施し、令和6年度から
9年度にかけて設備導入を進
める計画。

問 環境省に変更提出した計
画書の課題は。

答 九州電力送配電との連
系協議・運用に係る連絡
体制づくり、協調制御に関す
る機能等の確認と九州電力送
配電の合意形成が必要。

導入予定のDGRは埼玉県
で系統連系の実績がある。系
統との協調制御に必要なエネ
ルギーマネジメントシステム
は、日置市マイクログリッド
において実証実績がある。

実運用においては、導入施
設ごとに機能及び動作等の評
価を行い、導入量等に応じて
チェックポイントを設けるな
ど、九州電力送配電と連携を
図りながら段階的に進めてい
く必要がある。

※1 マイクログリッド事業はPPA事業者が太陽光を設置。

[PPAモデルのメリット]

- ・ 無償で施設に太陽光システムが導入できる。
- ・ 脱炭素に貢献できる。

[PPAモデルのデメリット]

- ・ 投資費用を回収するため、15年から20年の長期契約になる。
(本町は20年目から投資回収見込み)
- ・ 設備費用・維持管理費はかからないが、環境に左右されるためバックアップ電源
が必要。PPA事業者と一般配電電事業者の2社に電気利用料が発生するため電気
代削減にはならない。
- ・ 施設の構造によっては補強工事などの追加費用が必要。

※2 離島ユニバーサルサービス調整単価

2016年4月以降、一般送配電事業者は、需要家保護の観点から離島の需要家
に対するユニバーサルサービスとして、本土並みの料金水準で電気の供給を行うこ
とが義務付けられており、離島の電気発電にかかる燃料費の変動を「離島ユニ
バーサルサービス調整単価」として、託送料金を全ての需要家（離島・本土）で
負担している。

経済建設委員会現地調査

日 時：令和5年6月8日（木）
場 所：障がい者就労支援施設「さねん」

農福連携事業として、経済課と「さねん」で本年度から始まった、養殖と水耕栽培を掛け合わせた、次世代の環境保全型農業の実証試験について現地調査を行いました。

老朽化で使っていない冷蔵倉庫を事業費500万円（ふるさと納税）で再整備し、魚種は、ティラピアを養殖し、小松菜・レタス・トマトなどの栽培を予定しているそうです。

魚に与えるエサは魚のフンとなり、微生物が分解して、植物の栄養となります。魚・微生物・植物の3者が生態系をつくり、バランスよく循環する仕組みを作るとのこと。

この実証試験が成功し、障がい者の就労支援につながることを期待します。



脱炭素先行地域事業調査特別委員会視察

令和5年5月22日～24日（2泊3日）日置市・阿久根市・さつま町の2市1町の再生可能エネルギーの取組みを視察。

日置市 ひおき地域エネルギー会社は、行政エリアと福祉エリアに分けてコンパクトグリッドを構築し自営線で自家消費を行っていた。当初の計画は売電目的、系統に空き容量がなく断念し九州電力送配電には売電は行っていない。需要家に対して発電不足分は九州電力送配電から購入。太陽光発電の自家消費率は2割、電気購入率は8割、購入電力量が上がれば、地域エネルギー会社の経営は厳しくなる。ひおき地域エネルギー会社は、当初10%電気代を削減できていたが、運営維持の為に電気料金の値上げを令和4年の7月に行い現在は1%の電気代削減。ひおき地域エネルギー会社の10年後の運営継続は不透明。脱炭素先行地域の選定にあたっては、住民説明会を数回実施し住民に理解と同意を求めた。

阿久根市 地域マイクログリッド事業は、阿久根市が事業を先行し、後から民間企業を巻き込む計画であったが、事業に賛同し協力してくれる企業が出てくるかは不透明。また地域雇用はなかった。当初の出資は阿久根市が1億600万（ふるさと納税）を専決処分。総事業費10億うち半分は蓄電池5億、グリッド内の発電量は1,898kwp、蓄電量は4500kwhで発電。当初、売電目的で太陽光発電所を設置したが系統に空き容量がないのと九州電力送配電との協議を行っていなかった為、売電が出来ていない。売電を行わないと経営的に厳しく今後は一般財源からの持ち出しになる可能性がある。市役所の電気は97%ほど自家消費で賄っているが、電気代は今まで通り電力会社に支払いを行っているため電気料金削減になっていない。今後、維持運営資金を一般財源に頼ることになる可能性が、今後の課題と担当者から説明。

さつま町 水力発電（民間）バイオマス発電（民間）その他太陽光発電（民間）が多数あった。町主導で事業を行うと行き詰る経験を活かし、自然エネルギーを活用したい民間事業者に対し誘致を行い、住民との仲を取り持つ役割を行政が担った。太陽光発電54M中、売電を32M（世帯数9,900）、水力発電700世帯、バイオマス発電を合わせると、さつま町の電気を賄える発電量を民間が保有している。令和5年3月にさつま町ビジョンを作成し、今後は民間と協力してさつま町で作られている民間電力を地産地消として計画、実施していくと説明があった。

視察で感じたことは行政主導ではうまくいかず、単なる電気事業では収支も厳しく地域の経済効果は生まれない、持続可能社会の構築が単なるエネルギー施策になっていて町民福祉の向上にはならないと感じた。引き続き町民の福祉向上になるための調査を継続していく。

第64回奄美群島市町村議会議員大会

日時：令和5年5月11日(木)

場所：知名町文化ホール「あしびの郷・ちな」

【和泊町・知名町・与論町】提出議題

さとうきび交付金単価の改定及び制度の拡充とさとうきび農家の経営安定を

要旨

さとうきび交付金単価は当初トンあたり16,320円からスタートしましたが、令和5年産は16,860円でこの15年間でわずか440円しか引き上げられていません。これまでの燃油・肥料高騰対策や各種さとうきび振興対策には心から感謝申し上げますが、今日の燃油や肥料・生産資材・人件費等の高騰、作業委託料などの経費の増大、さとうきび農家の収益率が年々厳しい状況の中で生産者は日々努力していますが、どんなに努力しても限度があります。

また、食料安全保障政策の観点からも国産糖・甘味資源作物を守り、奄美群島の農家にとって命綱と言えるさとうきびを持続的に生産していかなければなりません。

本地域の発展につなげるためにも、さらなるさとうきび交付金制度の充実・拡充を含めた交付金単価の改定を実施していただきますよう強く要望します。



Q島での子育て環境はどうですか？

保育園・小中高と孫たちが通わせてもらっていますが、部活動・持久走大会など課外授業も熱心で、また町の色々な大人・子供含めた行事も多く、“力を合わせて”を育むとても良い環境だと思います。

しかし頑張っている子供たちは、いい成績を残しても体育施設がないため、島外試合しかできない現状を早く解決するためと経済効果になる体育館の建設を早くしてもらいたいですね。

Q今後の和泊町に望むことは？

海が好きで、釣り・素潜りと楽しんでいます。ここ4～5年魚が釣れなくなるとよく聞きます。確かに釣れません。こんなに海に囲まれているのに…。主産業が農業であり重要なのは分かりますが、海を環境を害しているのでは…と素人ながら感じます。是非“きれいな海”を保つ施策を進めてほしいと思います。せっかく南の魅力的な島なのですから。



プロフィール

三沢 利男さん

S29.3.19生まれ(68歳)

和泊字在住

勤務先…シルバーショップゆらり処

趣味…釣り・グラウンドゴルフ

編集後記

町民の皆様には新型コロナが5類となり、平常な生活に戻る事でしょう。

また、行政にも新副町長の誕生で、これまで以上に町民サービスが充実した行政活動になるでしょう。「期待をこめて」

文責 児玉 実隆

発行責任者	野 則
編集責任者	島 田 浩 樹
委員長	森 玉 隆
副委員長	山 口 実 隆
委員	山 口 明 香

今号の表紙

ヤーシチ公園で仲良く遊んでいる子ども達の様子です。学年関係なく、みんな楽しんで遊んでいます。これからもこのびのびと成長してほしいですね。

